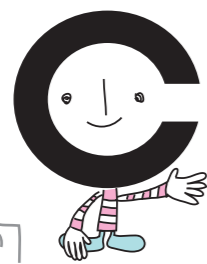


施設リスト



私たちは眼科専門医として、レーシックを行う施設として、患者様の生涯の目の健康と向き合っていくことを責務と考えています。



安心の条件

- ① お互いが信頼し、紹介し合える医師またはクリニックである
- ② 院長および執刀医が「眼科専門医」である
- ③ 院長および執刀医が、角膜手術、眼内レンズの専門的な勉強、トレーニングをしている
- ④ 院長および執刀医が、レーシック手術だけでなく眼科診療一般の知識を持ち対応ができる（感染症などの手術における基本的な対策が当然なされている）
- ⑤ 術前検査と適応の見極め、手術に至るまでのプロセスがきちんとしている
- ⑥ 術後のフォローアップ（定期健診や合併症の治療）を何度でもきちんとして行う（患者の目の状態につき、最後まで、生涯におけるフォローを行う）
- ⑦ 原則として、厚生労働省が認可したレーザーをはじめとする医療機器を使用している
- ⑧ 日本眼科学会によるエキシマレーザー屈折矯正手術のガイドラインを順守している

安心レーシック

ニュースレター

LASIK
WORK

眼科の先生も
受けているレーシック。
安心と安全には
理由があります。



Topics レーシックと白内障手術

日本で眼科専門医によるレーシックが行なわれるようになって15年が経ちました。レーシックを受けられた方が白内障になり、白内障の手術を受けられるケースも増えてきています。

レーシックをされた方でも、白内障の手術は問題なくできます。できれば「レーシックと白内障手術の両方に詳しい施設で受けることが望ましい」といえます。

今号では、レーシック後の白内障手術について解説します。白内障なんてまだまだ…という方も、ぜひ知っておいてください。

また、最近「アベリーノ検査」についてのご質問が寄せられています。安心 LASIK ネットワークの施設では、眼科専門医がきちんと診察で診断しています。このアベリーノ検査についても詳しく解説しましょう。

白内障手術ではレーシックを受ける前の目のデータがとても重要です。

40歳を過ぎた頃、「なんだか近くにピントが合わない」「小さな字が読めない」といった症状が出てきます。いわゆる“老眼”です。さらに歳を重ねていくと、「最近、遠くのものも見辛くなってきた」「光がまぶしく感じる」「ものがだぶって見える」など、視力の低下が現れてきます。この視力低下の主な原因が“白内障”です。



老眼の先に訪れる加齢性の病気「白内障」とは？

白内障とは、目の中でレンズの役割をする「水晶体」が白く濁ってくる病気です。若い時は、この水晶体が透明で、ゼリーのように柔らかです。しかし、加齢とともに次第に硬くなってきて（これが老眼です）、さらには変質して濁ってきます。これが白内障です。濁りが多くなると視力に影響してきます。見づらくなり、生活に支障が出始めたら、手術で濁った水晶体を取り出して、代わりに人工の「眼内レンズ」を挿入します。



写真提供/井手武先生

眼内レンズは、患者様の目の状態に合わせてレンズの度数を計算して取り寄せます。

ご安心ください。レーシックを受けられた方でも、白内障の手術は問題なくできます。

「眼内レンズ」は、外の光を屈折させて目の網膜にピントが合うようにするためのレンズです。ですから、患者様の目の形、目の奥行きや、角膜のカーブなどを詳しく測定して、いってみればメガネをつくる時のように、その患者様の目に合った眼内レンズをオーダーして取り寄せ、手術を行います。この時、レーシックを受けている人は、レーシックで角膜の形が変化していますので、そのことをあらかじめ計算に加える必要があります。ですから、レーシックについて詳しい施設で受けられるほうが良い、といえます。



眼内レンズの一例

安心 LASIK ネットワークの施設ならレーシックを受けた人も安心して白内障の手術を受けていただけます。

もし、レーシックを受ける前の目のデータがあればより精度の高い計算ができます。安心 LASIK ネットワークの施設では、患者様がレーシックを受けられる際、いずれ白内障の手術を受けられる時がくるであろうことを考慮して、手術前に測定した目のデータを保管しています。レーシックを受けた施設で白内障の手術を受けられる時はもちろんのこと、転居などで別の地方の施設で手術を受けることになっても、ネットワークの施設であればレーシック前のデータを取り寄せて対応することができます。

もし、レーシックを受ける前の目のデータがないという方も、安心 LASIK ネットワークの施設はレーシックも白内障も豊富な経験がありますので、レーシックを考慮した白内障手術を行うことができます。

乾燥から目を守る ドライアイ保護メガネ JINS モイスチャー



目の周囲をしっかりとカバーする設計。このウォーターポケットに水を入れて装着すると目の周りの湿度がさらに高まり、目の乾きを防ぎます。

▲ JINS モイスチャー
(Lサイズ4色、Mサイズ4色、各3,990円)
※度付きレンズは+4,990円となります。

冬はとくに空気が乾燥しています。なんだか目がシバシバする、仕事をしていると目が乾く、という方も多いのではないのでしょうか。そんな乾燥から目を守る画期的な保護メガネが登場しました。メガネの側面に水を充填することでメガネの中の湿度を上げて目の乾きを予防します。度も入れられます。下記クリニックで取り扱っています。

お取り扱い クリニック

- 南青山アイクリニック
- 名古屋アイクリニック
- 佐藤裕也眼科医院
- 小笠原眼科クリニック
- みなとみらいアイクリニック

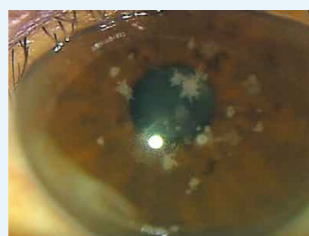
Q & A 「アベリーノ検査」という遺伝子検査があるとのことですが、受けたほうがよいのでしょうか？

A 「アベリーノ角膜変性症」は眼科では一般的に「角膜ジストロフィー」または「顆粒状角膜変性」と呼ばれる疾患のひとつです。角膜に濁りが生じる遺伝疾患で、そのほとんどは成人までに発症します。レーシックの術前検査では、この角膜ジストロフィーだけでなく、その他の注意すべき角膜の病気を、眼科専門医がしっかりと観察して診断しています。角膜ジストロフィーのほかに、円錐角膜などの病気も、レーシックの禁忌（してはいけない）で、眼科専門医は、これらには特に注意をして診察をしています。

つまり、アベリーノ検査をすれば安心というわけではありません。角膜疾患に詳しい眼科専門医がしっかりと診察して、レーシックの適応を見分けることが重要なのです。

昨今、このアベリーノ検査を用いて、患者様に必要のない不安を与えたり、有料の検査を強要した上に検査結果を伝えないなど、トラブルが生じているようです。受ける必要がある検査であれば、大学病院がまず行なっているはずで、(どこの大学病院も行なっていない)

安心 LASIK ネットワークの施設では、「角膜ジストロフィー」(アベリーノ角膜変性症)の治療も行なっている施設がほとんどです。ですから、この疾患についても詳しい知識がありますので、ご心配な方はネットワークの施設にご相談ください。



写真提供/坪田一男先生

角膜ジストロフィーの一例

レーシックを受ける前に下記 10 項目を確認しましょう。

10 のチェックリスト！

- 視能訓練士などの眼科検査スタッフが十分な検査を行い、その後、眼科専門医による診察を受け、検査内容と結果について医師からきちんと説明を受けましたか？
- 高度近視の人や、角膜の厚さが薄い人の場合、レーシック以外の術式も選択肢として検討しましたか？
- 術前検査とカウンセリングに十分な時間をもちましたか？レーシックの治療について、十分理解できましたか？
- 年齢やライフスタイル、手術の目的などを考慮した目標視力の設定を、医師と十分に話し合う時間をもちましたか？
- 手術の合併症やデメリットに対する説明を受けましたか？
- はじめての適応検査の後、手術までに一定の日数を空けていますか？
- 手術後、短期のみならず長期にわたる定期検査を行う予定がありますか？
- 執刀医を把握できる診察でしたか？ 担当医師、執刀医は「眼科専門医」でしたか？
- あなたが不安に思うことを、きちんと質問できましたか？ 医師はそれにきちんと説明してくれましたか？
- 術後に問題があった場合には、最後まできちんと治療をすることが期待できる施設ですか？

